



学校と家庭が連携して、道徳教育を推進していきたいと思えます。
学校で行った道徳の授業についてお知らせいたします。家庭で話し合ってもらいたいことをもとに、お子様といろいろな話をして下さい。
また、保護者の皆様の経験にもとづく話もできればとてもよいと思えます。
よろしくお願いいたします。

★資料名

「見えた答案」

★今回の道徳の授業のねらい

正直な心で、明るく誠実に行動しようとする態度を育てます。

★お話のあらすじと内容

家族の病気で十分な準備ができないままテストに臨んだ花子は、つい友人の答案を見てしまいます。テストは全問正解で返されますが、みじめな気持ちになり、花子はもう二度としないと自分に言い聞かせます。自分の不正をきちんと受け止め、自分を変えていこうとする花子のお話です。子供たちの日常に即したテストを題材にした教材です。

★子どもの授業の振り返り

◎分からないからと言って、人の答案を見ることは良くない。もし、悪いことをしたら素直にあやまった方がよいと思った。

★家庭で話し合ってもらいたいこと

人間としての弱さを認めながら、なお誠実な行動の大切さに気づくことが重要です。また、集団生活の中で誠実に明るく行動し合うことは、楽しく快適に生活するためにも大切なことです。良心にしたがって精いっぱい努力したり、人に対して陰日なたなく真心をもって接したりする態度がとても大切です。

お子さんの日ごろの行動の中で、誠実に行動できたときやできなかったときのことを思い出しながら、そのときのお子さんの気持ちや、ご家族のみなさんの気持ちについて話し合ってもらいたいと思えます。